



目視で品位鑑定を行う部会員

常盤地区良食味米競技会

8



ときわ良質米生産部会（三浦浩二部会長）は10月20日、常盤支店で良食味米競技会を開き、令和5年産米の審査を行いました。部会員15人が出席し、「青天の霹靂」「まっしぐら」「つがるロマン」「はれわたり」などの玄米サンプル29点（1点300g²）を審査しました。

米の収量・品質・食味を調査

12

つくる責任
つかう責任

10月12日と13日、黒石の育苗センターで令和5年産米の収量・品質・食味の調査を行いました。

調査は各地区の営農指導員が試験圃場から「青天の霹靂」「まっしぐら」「つがるロマン」「はれわたり」の稲を持ち寄り、脱穀・もみすりの作業をしました。今後は全体の推定収量と品質や食味の要因分析をまとめます。調査データは、来年産米の生産指導に活用します。



脱穀作業する営農指導員

「援農ボランティア」農繁期に協力

1



10月28日、JAグループ青森4連が農業者支援事業の一環として実施している「援農ボランティア」を受け入れました。地元企業職員34人が参加し、黒石地区と板柳地区のりんご生産者の園地で収穫作業を行いました。

参加者は「地元の生産者の手伝いをしたいのでまた参加したい」と話しました。

生産者は「初めて援農ボランティアを受け入れた。農繁期で、とても助かったので今後もこの取り組みを継続してほしい」と話しました。



りんごを収穫する参加者